

令和元年度 狭山市立 入間野中学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A: よくできている。(90%以上)
- B: 概ねできている。(85%以上)
- C: あまりできていない。(70%以上)
- D: できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員から		昨年度	
			評価	割合	説明	評価	評価(文章表記)	評価	割合
学校運営全般	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	100.0	学校教育目標の具現化に向けた、教職員組織、保護者との連携、生徒会活動を主とした生徒の自主的な活動等の地道な活動がよい結果につながった。特に、いじめや生徒の人間関係、不登校対策、SNSをめぐる問題行動等、教員の組織的な対応と共に生徒会を中心とした取り組みが、生徒の自尊感情を高め、良い結果となって表れてきた。またハイパーQUや定期的な面談活動や関係機関との連携を行うことで生徒個々の問題行動の解決のきっかけとなった。清掃活動については、数値的には向上したものの、徹底させることとなると課題は残る。施設設備については、月例の安全点検の結果から、修繕などの実施が早急に行われ、教育環境整備が滞ることなく行われた。	A	*学校教育目標の達成に向けて、先生方が子どもたちを主体的に指導しており、成果もでている。 *教職員のパワーが感じ教育を通じ子どもたちに向き合う姿勢がとても良い。 *授業も工夫し、子どもたちが学びやすい時間を作っている。 *生徒会活動を通じて自尊感情を高める取り組みは、今後も積極的に実行してほしい。家庭環境の格差が、不登校等につながらないように取り組みを模索してほしい。	A	100.0
	2	学校は、生徒の生活によく気を配り、問題に対して組織的に、迅速に対応している。	A	100.0				A	96.0
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	100.0				A	100.0
	4	教師は、生徒理解に努め、一人一人の生徒の心の悩みに応えようとしている。	A	100.0				A	100.0
	5	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A	93.0				B	89.0
	6	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	100.0				A	100.0
学習	7	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	92.0	授業についての教員の自己評価は、4ポイント下回ったが、生徒は、2ポイント保護者は5ポイント上回った。授業は、どの教科も落ち着いた雰囲気の中行われ、全国学調、県学テの結果も、県平均を上回る結果となった。今年度も教員の指導力向上のために研究授業を行い、スキルアップを図ってきた成果が表れてきた。家庭学習についても昨年よりは向上してきたが、生徒によって差があるのでさらなる取り組みを行ってきたい。	A	*県学力調査や全国学テの結果が、県平均を上回っていることは、先生方のわかりやすい授業によって学力がしっかり身につけているのだと思う。 *教材や授業の進め方等、生徒の興味を引く工夫が随所に見られ、わかりやすい授業が行われている。 *子どもたちが楽しく学べる環境作りを各先生方が工夫している。 *生徒たちが落ち着いて、集中して授業を受けているところがよい。 *94%の生徒が学校生活が楽しいですかの質問に「そう思う」「おおむねそう思う」と答えているのが素晴らしい。	A	96.0
	8	教師は、生徒の基礎・基本の定着に努力し、学力の向上を図っている。	A	100.0				A	100.0
	9	生徒は、授業規律をよく守り、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	100.0				A	100.0
	10	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	A	92.0				B	87.0
規律ある態度	11	学校は、行事等を通じて生徒のやる気を育てる指導に心掛けている。	A	100.0	行事や体験的な学習を通して、自己肯定感を高め、生徒にとって充実した学校生活を送ることができた。自他を大切にし、思いやりのある言動については、道徳教育や様々な体験活動を行うことでわずかながら向上してきた。保護者の評価も昨年よりも上回った。生徒の学校生活が楽しい、学級が楽しいという項目も向上し、目指す学校像に大きく前進してきた。しかしながら、挨拶や正しい言葉づかいは、今後も継続して指導が必要。規範意識については、校外での生活や交通安全、情報モラル等、家庭と連携を図り指導の充実が求められる。	B	*赤ちゃんふれあい体験等を通して、自他を大切に、思いやりのある言動は身につけている。制服の乱れもない。 *挨拶に関しては、子どもたちだけでなく教職員全体が見直し、教職員の方から積極的に挨拶をした方がよい。 *スマホ使用のルールを自分たちで決めるなど、自主的な規律管理を今後も進めてほしい。 *職場体験においても、言葉遣いや挨拶がしっかりとっていて、基本的な生活習慣が身につけていると感じた。 *保護者アンケートにおいて人権意識の肯定的評価が90%になっているが全学年Bの方が多かったのが気になる。 *校外での安全意識を高める指導の充実が望まれる。	A	100.0
	12	生徒は、TPOを踏まえ、あいさつや正しい言葉づかいができている。	C	78.0				C	81.0
	13	生徒は、きまりや時間を守って生活している。	B	89.0				A	96.0
	14	生徒は、自他を大切にし、思いやりのある言動がとれている。	B	89.0				B	88.0
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	97.0				A	100.0
健康・体力	16	教師は、生徒の学校生活が充実するよう指導している。	A	100.0	学校が楽しい、自分なりの目標を持って学校生活を送っている、生徒の評価では共に昨年度より上回っていた。部活動についても、ガイドラインにより週2日の休みとなったが、多くの部が好成績を残すことが出来た。健康面では、歯の治癒率の向上やスマホ等の使用の健康面について等、定期的なヘルスタイム等で取り組み、成果が表れた。	A	*学校生活が楽しいと回答している生徒が非常に多いことは、先生方の努力によるものと感謝している。 *練習時間が減った中、良い成績を納める部が多いので、充実した活動ができています。 *学校全体が気を配り学校生活を楽しめるように工夫している。 *3年間かけて取り組んできた歯の治療やヘルスタイムの効果が結果につながり、素晴らしい。	A	100.0
	17	生徒は、体育授業や部活動に意欲的に取り組んでいる。	A	100.0				A	100.0
	18	生徒は、健康を意識し、自己の健康管理を意識している。	A	100.0				A	100.0
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供し、説明責任を果たしている。	A	100.0	保護者による開かれた学校についてわざわざだが向上。ホームページ閲覧の周知も推進。今年度同様に学校だよりやホームページを充実させて情報の発信に努めていきたい。	A	*学校行事等で保護者や地域と連携・協力し開かれた学校づくりが進められている。 *ホームページでの学校情報公開が充実してよかった。	A	100.0
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	100.0				A	100.0